

第79回福島県総合スポーツ大会会長あいさつ

第79回福島県総合スポーツ大会
会 長 北 村 清 士

第79回福島県総合スポーツ大会が、多くの選手・監督・役員のご参加のもと、29市町村において盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

本大会は、県民総参加のスポーツ大会として、本県スポーツの振興と文化の発展に寄与するとともに県民生活をより明るく豊かにすることを趣旨とし、長い歴史と伝統を重ねてまいりました。

昨年10月に滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会では、ウエイトリフティング、陸上競技、カヌー、自転車競技における優勝をはじめ、ソフトボール、ビーチバレー、ソフトテニスなど、二十競技七十六種目で入賞を果たすなど本県選手団が大活躍し、平成19年秋田大会以来の20位台となる天皇杯順位26位の成績を収めました。これもひとえに、各団体の皆様が日頃から競技力向上に真摯に取り組み、弛まぬ努力を続けてこられたことの結実であります。

現代社会においてスポーツは、観客を魅了し感動を生む競技力のみならず、健康増進や生きがいづくり、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化など多面的な価値を有し、社会における重要性はより一層高まっております。こうしたスポーツの持つ力を結集する本大会の意義は、ますます大きなものとなっております。

参加者の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、手に汗握る白熱した試合を展開していただくとともに、大会を通じて友好の輪を広げ、思い出に残るすばらしい大会となることを心から願っております。

結びに、大会の開催準備、運営に御尽力いただきました関係の皆様にご心から感謝を申し上げ、あいさついたします。